

樹木園 MAP



見学者記帳所
 ※必ずご記帳の上
 ご見学下さい



芦別岳を背景にした苗畑

開園時間 平日9:00~16:00

- ・ 駐車は事務所前の駐車スペースを利用し、園内は徒歩での散策をお願いします。
- ・ 高木も多く落枝の危険もありますので通行には十分ご注意ください。
- ・ 貴重な展示林ですので植物採取はご遠慮ください。



北海道演習林における樹木園の取組み紹介

苗木生産

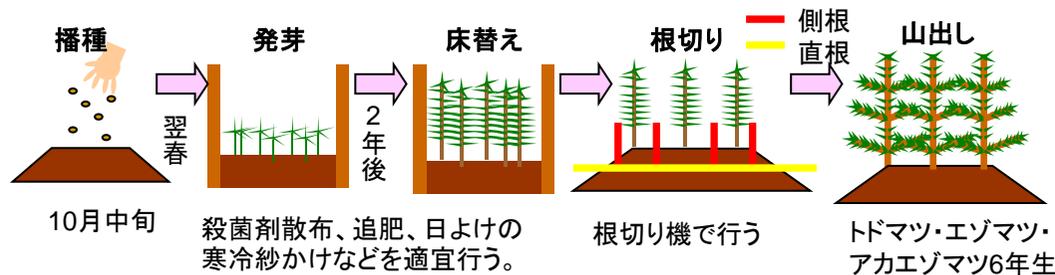
- 北海道演習林における自生種であり主要な造林樹種であるトドマツ・エゾマツ・アカエゾマツを中心に年間約3万本の苗木生産を行っています。その他試験用など広葉樹苗や、コンテナ苗木生産にも取り組んでいます。
- 種子採取は演習林内で行い、遺伝子の攪乱を防いでいます。種子は主に豊作年に採種し、種子貯蔵庫に保存しています。
- これらの苗木は、演習林内で更新補助的に植栽されるほか、山火事や台風被害など大規模災害後の復旧造林としても利用されています。特に、難しいとされてきたエゾマツの苗木生産を事業的に展開できるようになったことから、エゾマツ資源の保続に大きな貢献をしています。



エゾマツ2年生苗

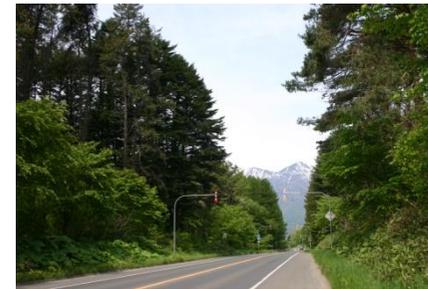
冬囲い、殺菌剤の散布、火山灰を敷くことにより、暗色雪腐病の被害を大幅に防ぐことができました。

< 育苗工程 >



樹木園・外来樹種見本林

- 演習林内に自生する樹木その他、北海道と気候の類似した北米・北欧諸国の樹種を中心とした北方系森林遺伝子資源を収集・保存しています。
- 特にカラマツ属の遺伝育種の研究がさかんに行われたため、その材料は充実しています。



外来樹種見本林



カラマツ類の展示

- 1930年より、樹木のフェノロジー（植物季節）調査を行っており、約40種について開葉・開花・結実の豊凶・紅葉・落葉などを記録しています。①②③など番号プレートを設置しています。
- その他、産地別・標高別など各種試験地などがあり、研究材料として利用されています。



エゾヤマザクラ調査木



産地別ブナ